

第8回 和歌山県高校生英語ディベート大会開催要項

- 1 目 的 日頃の英語の学習成果を発表する機会を提供し、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成するとともに、ディベート活動を通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- 2 主 催 和歌山県教育委員会
- 3 日 時 令和元年10月12日（土）
9：30～17：00（受付 9：00～）
- 4 会 場 和歌山県民文化会館 各会議室
和歌山市小松原通一丁目1番地（電話 073-436-1331）
- 5 参加資格
 - ・ 県内の高等学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校の3年までに在学する生徒。
 - ・ 英語のネイティブスピーカーは不可。
 - ・ 次の（1）～（3）のいずれかの条件に該当する者は、1チームにつき2名までとする。ただし、該当生徒で各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能。）
 - （1）英語を第1言語とする国に12か月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - （2）英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - （3）家族で常用的に英語を使っている生徒
- 6 チーム構成 同一校でチームを編成し、1チームは4名～6名。（1校から複数チームの出場も可能であるが、1校からの出場チーム数を制限することがある。）
- 7 競技規則 和歌山県高校生英語ディベート大会基本ルール（別紙）による。また、全国高校英語ディベート連盟（HENDA）による全国高校生英語ディベート大会ルール <http://henda.global/>を参考とする。
（予選運営方法等で異なる部分もあるので注意すること。）

- 8 競技方法 トーナメント形式とする。
組み合わせについては、参加申し込み終了後、抽選を行う。
なお、昨年度の1位校、2位校をシード校とするが、シード校から複数チームのエントリーがあった場合は、その学校において優先順位の高いチームをシードの対象とする。
ただし、参加チーム数の状況により、競技方法を変更することもある。
- 9 論 題 すべての試合において、次の論題とする。
- Resolved: That the Japanese government should limit the weekly maximum average working hours, including overtime, to 48 hours (following the EU).
日本国は、残業も含めた週あたりの最長平均労働時間を、(EU にならい) 48 時間に制限すべきである。是か非か。
- 10 賞 1位～4位までに楯と賞状を授与する。また、ベストディベーターに賞状を授与する。
- 11 全国大会への出場
- (1) 上位校（本大会の出場校数により、全国大会への出場校数が決定する。昨年度は1校が出場。）には、令和元年12月に群馬県で開催される第14回全国高校生英語ディベート大会への出場権が与えられる。
 - (2) 全国大会の出場は1校あたり1チームまでとし、全国大会への選手登録は改めて再構成することができる。
 - (3) 全国大会に出場する登録選手の旅費等については、県教育委員会から支給する。
- 12 参加申込等 各学校において参加チーム毎に参加申込書（別記様式）を作成の上、取りまとめて令和元年9月12日（木）までに、下記担当宛て提出すること。
- 13 そ の 他 日程等、詳細については、後日、出場校に連絡する。

【担当】 和歌山県教育庁学校教育局県立学校教育課
生徒支援班 指導主事 高橋 洋次
〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL 073-441-3686 FAX 073-441-3652